

横浜市都市美対策審議会景観審査部会  
北仲通南準特定地区

「景観形成の考え方」

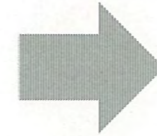
## 目次

0. 外観模型写真
1. 高層部について
2. 中層部について (※)
3. 低層部について
4. 歴史性について
5. 眺望の視点場からの景観
6. 補足説明資料(配置図、平面図、立面図、断面図)

(※)景観協議上は低層部に項目分けされています

### 前回都市美審景観審査部会(2016.05.26)での主なご意見

- ・ 高層部のボリューム感をもう少しシャープにすること。
- ・ 敷地南側の賑わいを創出すること。
- ・ 地区の中心としてアトリウム(屋根付き広場)の賑わいづくりをすること。
- ・ 遺構の横浜銀行集会所の活用を検討すること。
- ・ 議会棟の市民利用を検討すること。



### ご意見をもとに、今回対応したページ

P5、P6  
 P12、P13  
 P10、P11  
 P17、P18、P19  
 P9



現況案



技術提案書

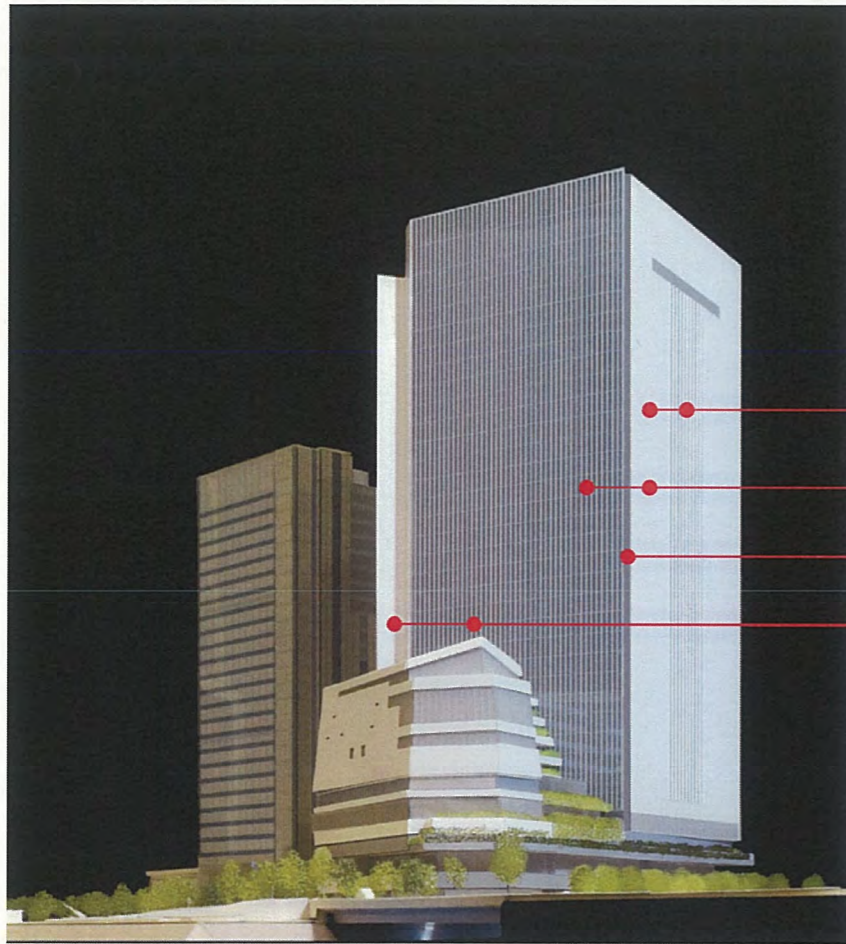
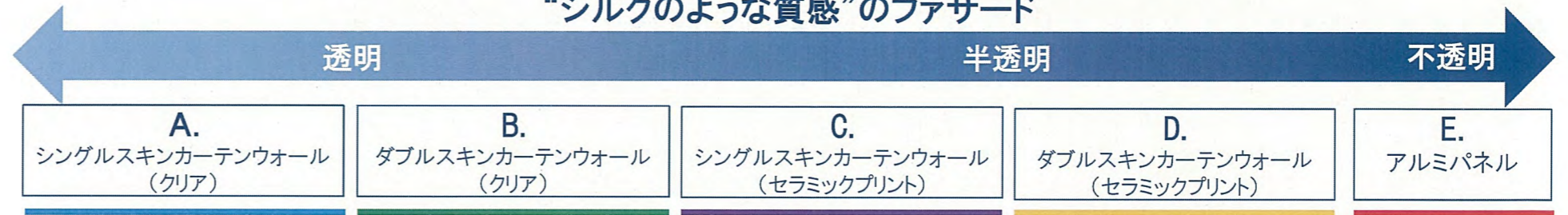


現況案

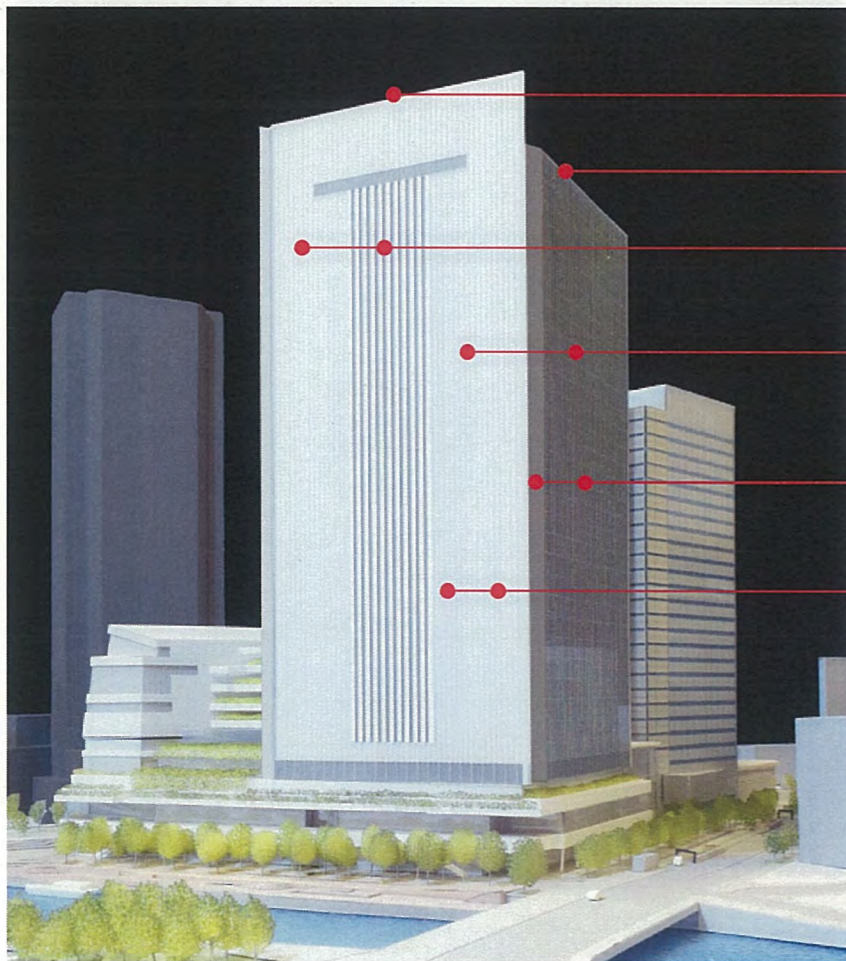
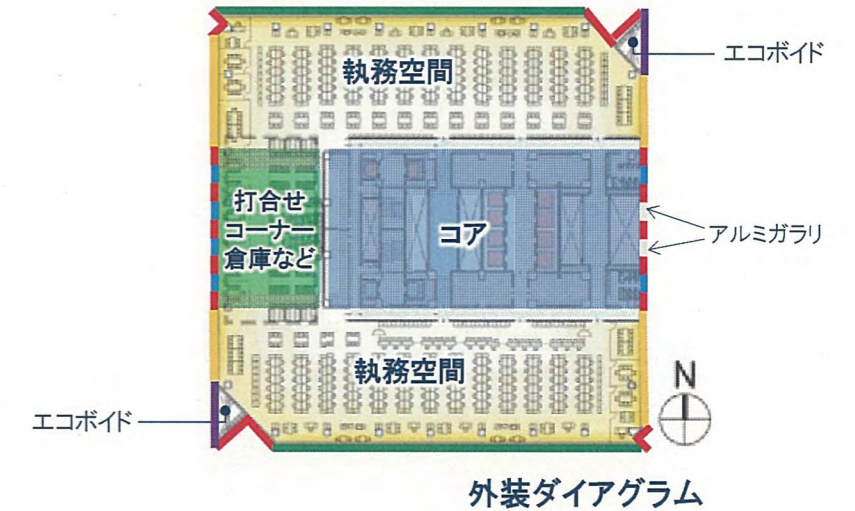


技術提案書

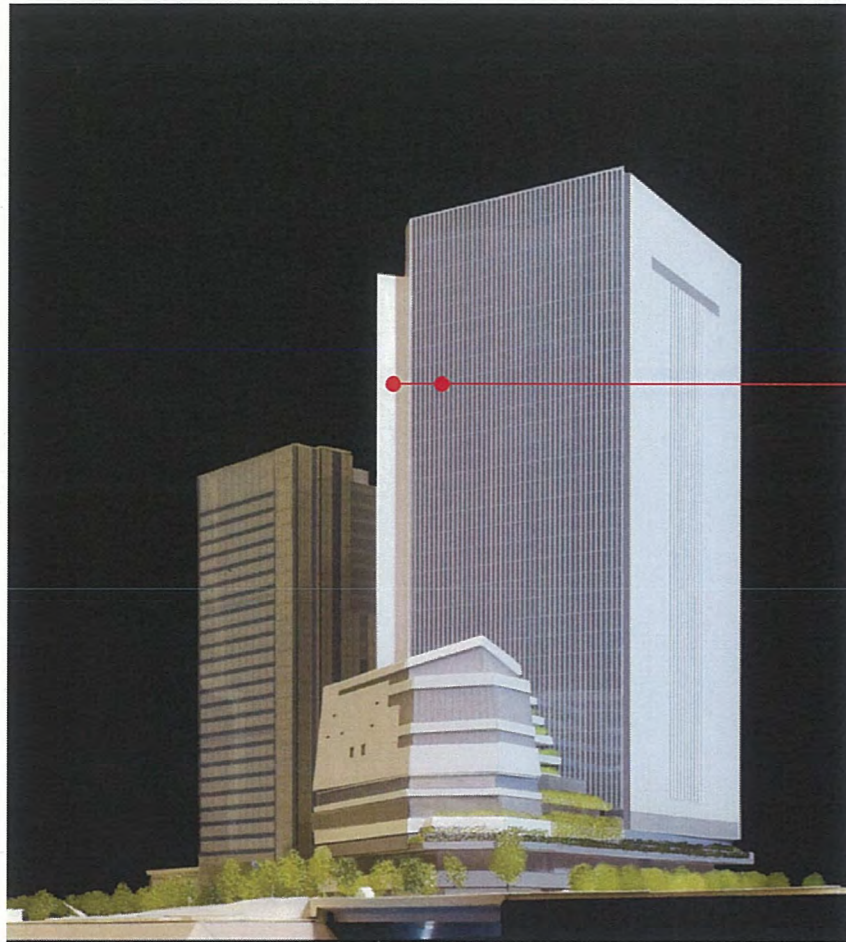
白さのアンサンブルで垂直ラインを構成し、環境性能も兼ね備えた  
“シルクのような質感”のファサード



1. 西面を面内分節するDと、A+Eの組み合わせ
2. 南北面は室内から眺望や開放感を確保するためB、東西面は日射負荷を抑制するためDという使い分け
3. 北面Bと西面Dを分節する、Eによる欠き込み部。Eは濃淡に色分けして分節を強調する。
- 4a. 北面を面内分節するコーナーエコボイドのE欠き込み部とB。Eは濃淡に色分けして分節を強調する。



0. ボリュームを分割し、横浜アイランドタワーと連続する群景観
1. 西面を面内分節するDと、A+Eの組み合わせ
2. 南北面は室内から眺望や開放感を確保するためB、東西面は日射負荷を抑制するためDという使い分け
- 4a. 北面を面内分節するコーナーエコボイドのE欠き込み部とB。Eは濃淡に色分けして分節を強調する。
- 4b. 西面を面内分節するコーナーエコボイドのCと、執務空間のD



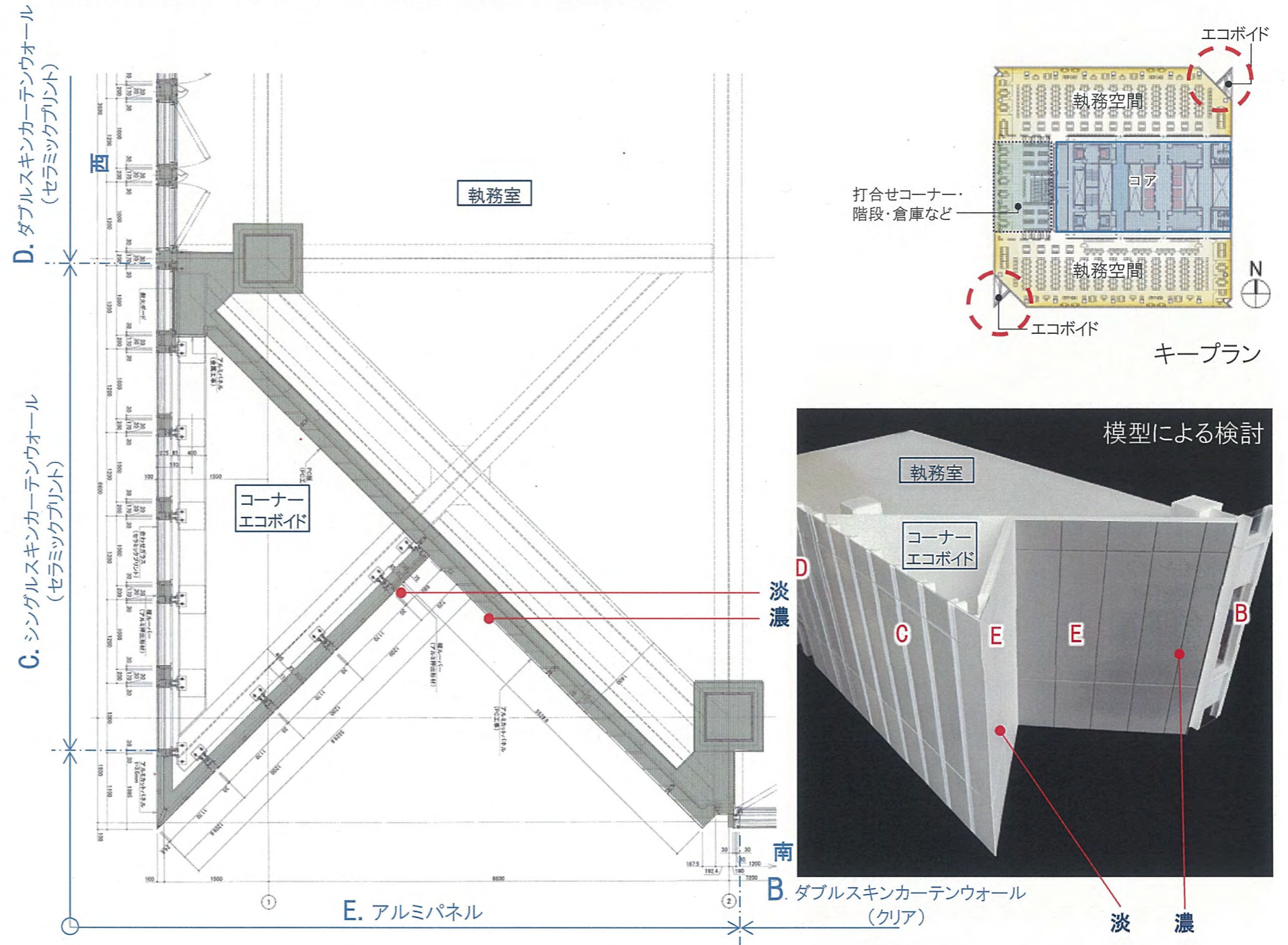
白さのアンサンブルで垂直ラインを構成し、環境性能も兼ね備えた  
“シルクのような質感”のファサード



A. シングルスキンカーテンウォール (クリア)	B. ダブルスキンカーテンウォール (クリア)	C. シングルスキンカーテンウォール (セラミックプリント)	D. ダブルスキンカーテンウォール (セラミックプリント)	E. アルミパネル
--------------------------------	-------------------------------	--------------------------------------	-------------------------------------	--------------

4a. 北面を面内分節するコーナーエコポイドのE欠き込み部とB。Eは濃淡に色分けして分節を強調する。

4b. 西面を面内分節するコーナーエコポイドのCと、執務空間のD



## 2. 中層部について

## 中層部外観イメージ



※1

横浜アイランドタワー

- 旧第一銀行の高さ約14m以下の部分は濃く色分けして、北仲通南地区の基壇として扱う。
- アイランドタワーの南北面外装の等比級数的な無目割付け(※1)を参考に、議会棟外壁面の目地を割付け、関係性を表現する。(北立面図参照)
- 軒の高さを45mにすることで、北仲通北地区(A-1)と合わせて関内地区へのゲート性を表現する。
- 8階の外壁面を後退させることで、議会棟の頂部を特徴づける。



技術提案書



現況案：北仲橋方面からの眺め



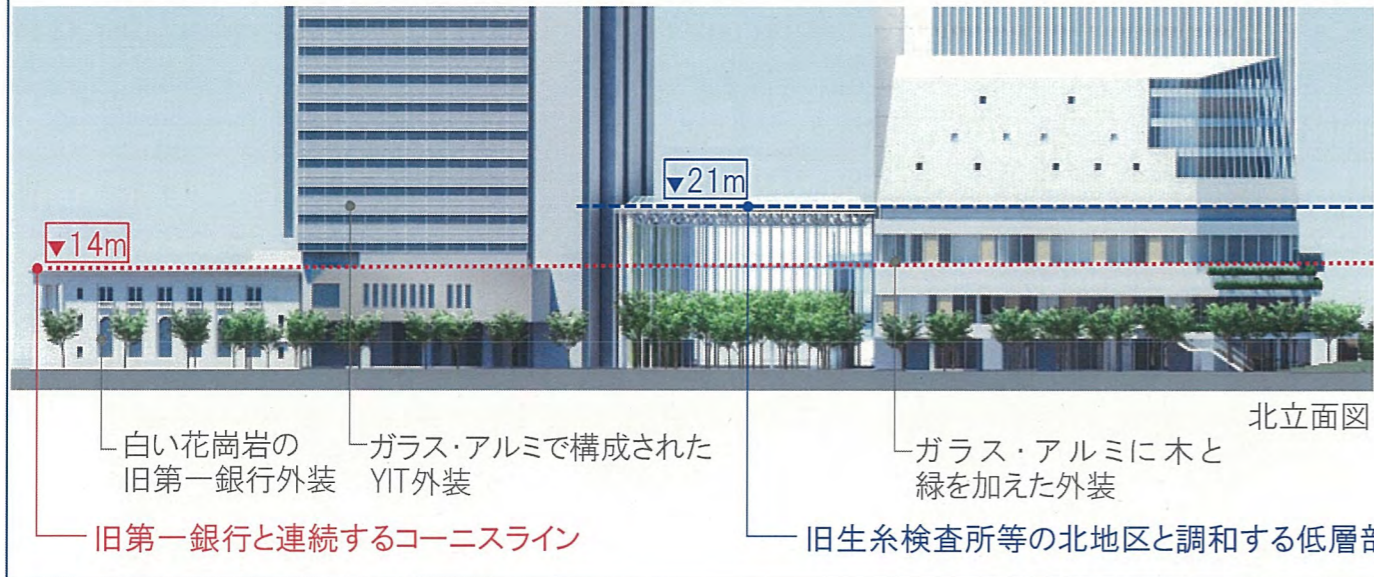
現況案：本町四丁目方面からの眺め

## 2. 中層部について

歴史の重層性と呼応する街並みの高さ設定

### 技術提案書

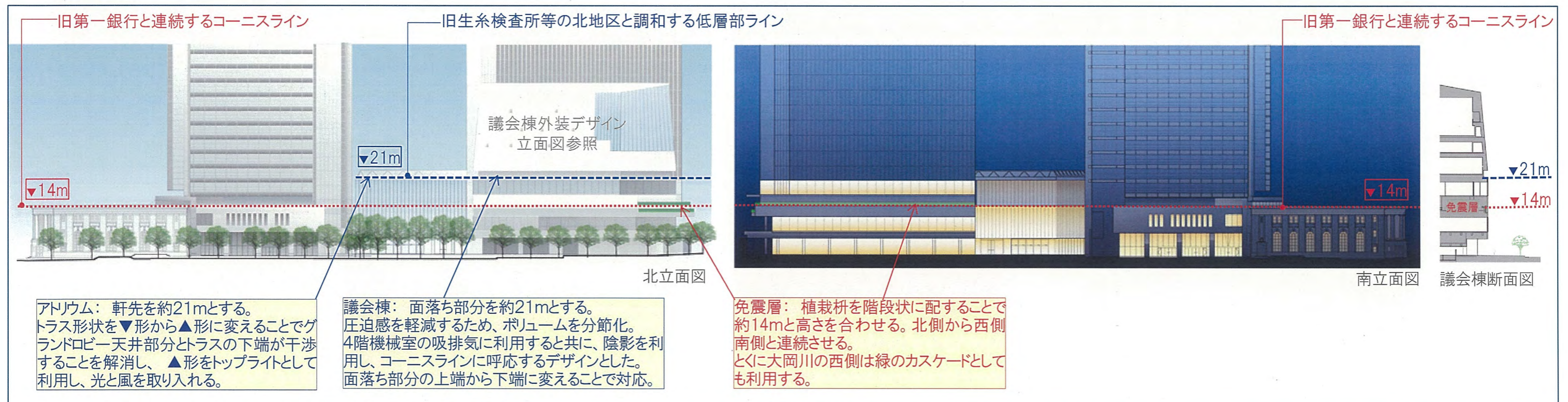
技術提案書 図2 歴史の重層性を尊重する昼間の街路景観



技術提案書 図3 落ち着いたある夜の街路景観



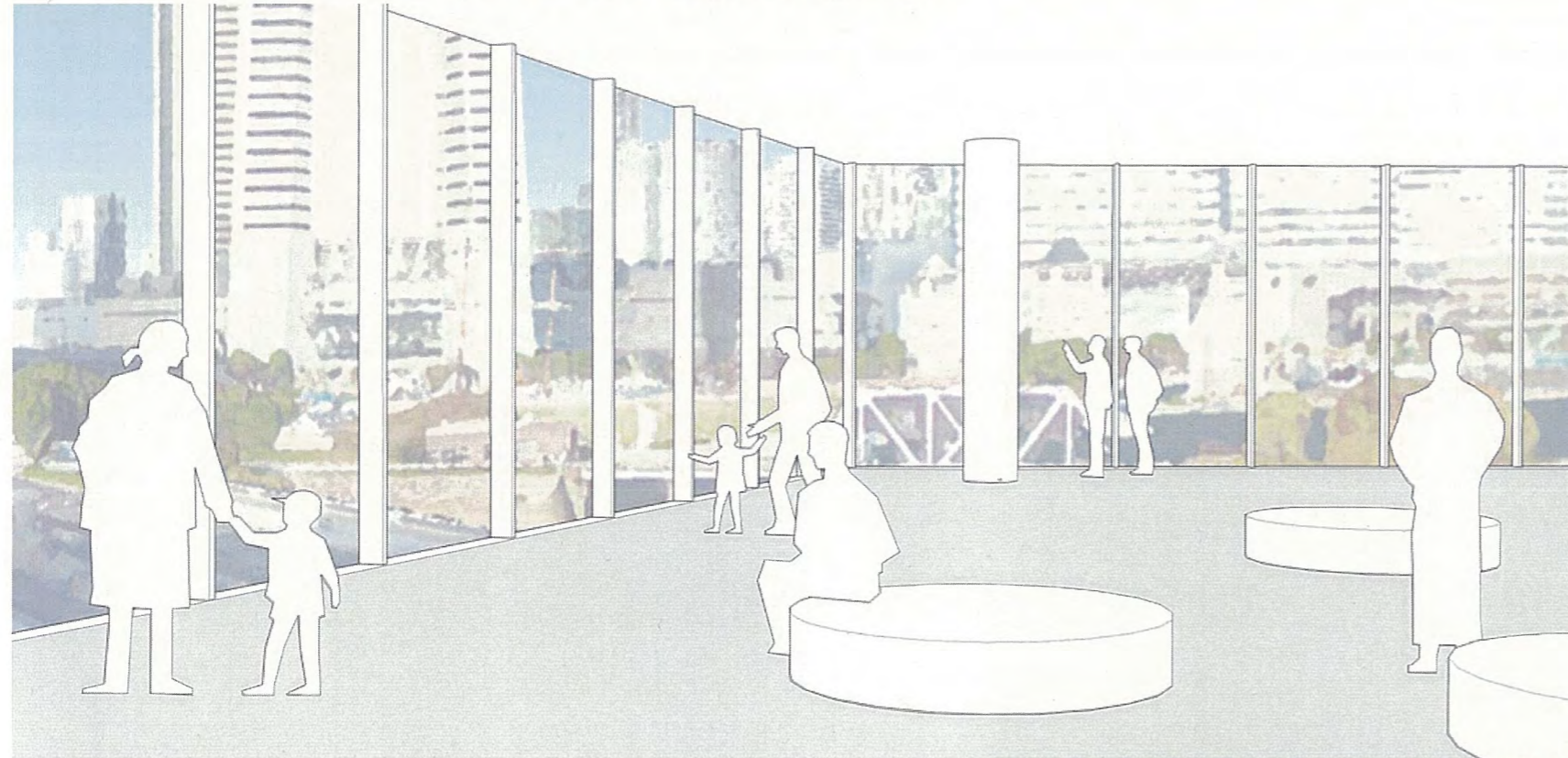
### 基本設計段階 免震層階高変更によるコーニスライン現況位置





## 2. 中層部について

開かれた市庁舎と、シティ・アンダースタンディングのために



市民ラウンジからみなとみらい21中央地区を望む

### 1. 展望の意味

神戸、富山、東京と、庁舎の一部に街を一望できる施設を持つ例は多い。自らの街を視覚的に把握することは、街について理解を深めるための一助となる。

### 2. 歴史と発展

開港や鉄道開通の歴史から、その後の横浜市六大事業の成果で発展した現在の状況を、ひと通り説明できる稀有な場所である。街の成り立ちを知ることは、街について愛着と誇りを持つ契機となる。

### 3. にぎわい作り

議会の独立性の表現のために高層棟と分節化した議会棟は、市民と市民代表の共有の場でありたい。展望施設を高層階ではなく3階に設けることは、歩道や大岡川からも窓越しの活動が伺え、市会の開催に関わらず、賑やかさが感じられる開放的な場所となる。

### 4. 議会のPR

グランドロビーから市民ラウンジへ至る経路が長いことを利用し、市民と議会を接触する部分を増やす。議会活動を広く知らせるとことは、自治という観点からも有効である。



参考事例:横浜みなと博物館



市民ラウンジ



みなとみらい21中央地区



日本丸



弁天橋ヨリ灯台ヲ望ム



初代横浜駅



大岡川河口護岸荷揚場



3階平面図